

第2回 桐生市学校規模等適正化境野中学校区検討委員会 議事録

○日 時 令和6年6月4日(火) 午後2時～午後3時16分

○場 所 桐生市立境野中学校 2階 会議室

○出席者

【桐生市学校規模等適正化境野中学校区検討委員会】8名

委員長	丸橋 英雄
副委員長	正田 光生
委員	辻 勇一郎
委員	永井 愛理
委員	新井 富美枝
委員	大澤 直也
委員	関子田 美樹
委員	楡井 正弥

【桐生市教育委員会】8名

《事務局》

教育部長	園田 博宣
教育部参事	渡邊 真宏
教育部総務課長	峯岸 孝徳
教育部学校教育課長	須藤 英隆
教育部教育環境課長	糸井 広江
教育部教育環境課教育未来係長	千葉 敦弘
教育部教育環境課教育未来係	新井 広明
教育部教育環境課教育未来係	小池 正文

【傍聴者】 0名

【報道機関】 1社

○議事の概要

1 開 会 [開始：午後 2 時 00 分]

- ・委員及び事務局自己紹介
- ・事務局から、過半数以上の委員の出席により、会議が成立することを報告。

2 委員長あいさつ

3 報告事項

- ・議事進行は、桐生市学校規模等適正化中学校区検討委員会及び地域協議会設置要綱第 8 条により、委員長が議長を務める。
- ・資料 7～資料 9 に基づき、事務局から説明。
- ・意見や質疑応答は、以下のとおり。

発 言 者	発 言 内 容
議長(委員長)	事務局の説明がありましたが、ご質問、ご意見などがございましたら、挙手をお願いいたします。委員さん、いかがですか。
委員	先日、新聞で桐生市の人口が 10 万人を割ってしまうという記事を見ました。資料 9 で学校の教室がどれだけ空いているのかを見させていただくと、児童生徒数がとても減ってしまっていると感じます。
議長(委員長)	桐生市では、自然減少や少子高齢化により、子供の人数も比較的少なくなってきていることから、人口 10 万人を割ってしまうという状況です。そうしたことが、小中学校へも影響が出ているという気がいたします。委員さん、何かございますか。
委員	境野中学校区は、隣接する中央中学校区、広沢中学校区等を考えても、各小中学校が地理的に遠いと感じます。そのようなことも含めて考えると、統合は難しいと思います。しかし、今後の生徒数を考えると、どのようにするのが良いか、今は具体的に分かりませんが、今後検討していくべきだと思います。
議長(委員長)	第 1 回検討委員会の会議において、事務局から小中学校の望ましい学校規模等についての説明がありましたが、単学級になってしまうとクラス替えができないということになります。児童生徒にとって、今後、大きな意欲を持って、切り拓いていくという意識を狭めてしまうことも考えられるため、クラス替えは必要であるという話が出ておりました。 境野町 11 区は、中学校区で考えると、隣接する広沢中学校区、中央中学校区、清流中学校区の 3 つの中学校区のいずれかと、統合していくような気がいたします。そのようなことについては、今後、委員の皆さんのご意見を伺いたいと考えています。委員さん、何かございますか。
委員	先ほどの委員さんから、隣接する中学校区が遠いという話がありました。確かに遠いような気はしますが、隣接する中学校区や、さらにまたその隣の中学校区があり、今後、他の中学校区の委員さんの考えも気になります。桐生タイムスの記事や参考資料の各中学校区検討委員会だよりを拝見すると、

発言者	発言内容
	<p>どの学校区も検討した方が良いという状況かと思えます。また、各中学校区検討委員会委員の代表が一度集まり、話をした方が良いという気がします。今年度中を目途に方向性を出すとして、例えば、こちら側が清流中学校区や中央中学校区と協議の場を設けたいとなった場合、さらに他の中学校区も含めて協議をするといことも出てくる気がします。中央中学校区は、他に桜木中学校区と近いため、検討範囲になってくると思えます。そうなった場合、小学校はスクールバス、中学校は自転車で通学等、通学方法の話になるかと思えます。学校が遠い、近いというのは今後考えることにしても、今は各検討委員会の進め方も参考にしながら、判断した方が良い気がいたします。</p>
議長(委員長)	<p>今、委員さんからお話があったように、統合ということになると、先様もあることであり、十二分に検討委員会で協議しなければならないと思えます。事務局に確認ですが、学校規模が偏らないような形で考えていくのだと思えますが、境野中学校区が中央中学校区、又は清流中学校区のどちらかを選択して協議をするとなった場合について、ご説明をお願いします。</p>
事務局 (教育環境課長)	<p>他の中学校区と地域協議会を編成しての話し合いということで、令和7年3月31日を目安に、境野中学校区として方向性を出していただいた後、例えば、中央中学校区と一緒に地域協議会を編成して話し合いをしていく、そこに清流中学校区が入ってくることもあるかもしれませんが、今後、地域協議会を設置して皆さんで話し合いを進めていただくこととなります。</p>
議長(委員長)	<p>隣接する中学校区の小中学校が統合した場合の児童生徒数の見込みは、本検討委員会の後でない、具体的な数字は分からないということでしょうか。</p>
事務局 (教育環境課長)	<p>第1回検討委員会の資料5をご覧くださいますと、境野中学校区内の小中学校や隣接する中学校区内の小中学校の児童生徒数・学級数の見込みを例示しておりますので、このような資料等も、ご協議の参考にしていただければと思います。</p>
議長(委員長)	<p>資料5に例示されていますので、委員の皆様には、お目通しいただけますと幸いです。委員さん、他にございますか。</p>
委員	<p>今年度、境野幼稚園とみつぼり保育園が閉園予定で、更に、沼の上保育園も閉園するという噂を聞きました。万が一、沼の上保育園も閉園してしまうと、境野地区に保育所がなくなってしまう。そうした中、境野中学校区が、例えば、広沢中学校区と統合になり、各学校の校舎が広沢中学校区の各校舎を使用するとなった場合、境野地区から、保育園や幼稚園、小中学校もなくなってしまう。学校がなくなれば人も流出してしまうため、境野地区に住んでいる以上、私としては良い気持ちはしません。保護者として個人的な感想としては、統合するのは良いが、なるべく境野中学校区に集まってもらえるようお願いしたいと思います。区長さんをはじめ11区の方々、本当に子供たちへ力を注いでくださり、とても良い方たちばかりですので、境野中学校区に残してもらえるとありがたいです。境野から学校や保育所をなくしてほしくないという思いがあります。お願いします。</p>

発言者	発言内容
議長(委員長)	境野幼稚園とみつぼり保育園についてですが、現在、境野幼稚園は園児が3名、みつぼり保育園は8名というようなお話を聞いています。沼の上保育園の園児数は多いです。しかし、ただいま閉園の噂が出ているとのことでしたが、事務局で何か把握していますか。
事務局 (教育環境課長)	そのような話は、把握しておりません。
委員	そのような話が保護者同士で出ているようであり、確定ではないかと思われれます。
議長(委員長)	児童を守るためにも、境野地区に幼稚園や保育園は必要ですので、よく確認をして、仮に何かあれば11区としても、残すようにしていきたいと思えます。そのことについては、後ほど確認します。ただいま学校規模ということで、色々な意見が出ていますが、次第4の議題に移りたいと思えますが、よろしいでしょうか。
委員	<p>1点よろしいですか。桐生市の人口が10万人を切るというお話がありましたが、先日、桐生市のPTA総会の折に、教育長から出生数の報告がありました。昨年度、桐生市の0歳児の出生数がおおよそ300人程度であり、今年度の小学校1年生である新入学児童数が500人程度と聞いております。12、3年後に、この0歳児が全員、中学校1年生になったと仮定して、1学級30人で10学級ちょっとしかないということになります。そうすると、今ここで1校、2校の統合を協議していても、10年後は更に減少するということが見えているので、そこも問題ではないかと思えます。</p> <p>統合をするのであれば、先を見て、10年後には300人程度しかいないということ想定して、中学校区の適正化、統合に向けた協議を中学校区ごとに細々行うのではなく、桐生市全体として捉えて、数年後また同じことを行うことがないように、今のうちに手を打った方がよいと思えます。極端な話ですが、桐生市内1校の中学校で済んでしまうレベルの学級数になってしまうのではないかと思えます。先日の教育長のお話を聞いて計算したところ、資料7にある大規模校は市内に1校もない状況です。中学校区では、仮に10学級あると仮定して、30学級程度であり、それを何校で分けたら良いのか、先生の人数も同じことが言えるのではないかと思えます。</p> <p>現在、境野中学校では、家庭科と美術科の先生が常勤ではないという実情があるようです。これは境野中学校だけに限らず、他の中学校でも考えられます。小規模校しかない実情であるため、全部統合して、通学方法は、先の問題として、市でスクールバスの充実などを色々考えていただき、また、コミュニティバスが運行されていますので、上手に連携を図れば、市民の方々の利便性にもつながると思えます。市民が減少していますが、魅力ある学校を作り、市外から人を呼ぶ方法など、人を増やすという方向も考えなければいけないと思えます。同時に全てうまくいくとは思いませんが、そのような考えも持たないといけないのではないかと、個人的に思っています。</p>

発言者	発言内容
議長(委員長)	先ほどからお話が何回か出ておりましたが、10年後には桐生市の人口が減少します。それに伴い、児童生徒数も減少という状況になることが想定されますので、先ほど委員さんが言ったような案も一理あります。他に何かありましたらお願いします。
委員	資料7、資料8の望ましい学校規模についてですが、小学校では、今の子供たちを見ていますと、人間関係が以前より複雑化してきたということを感じております。また、これからの時代を生きる子供たちに、どのようにコミュニケーションの機会を増やし、人間関係を構築していけば良いのかと考えますと、望ましい学校規模ということをこれからもよく検討していかなければいけないと感じている次第です。
委員	先ほど委員さんからお話がありましたが、境野中学校では、美術科と家庭科について専任の先生がいなかったため、他の学校から兼務という形で来ていただき、授業していただくという形を取っています。具体的には、週に2日間、例えば、火曜日と木曜日で実施しています。 また、学級数が少なくなりますと、色々な状況で、今後の学校運営が難しくなるようなところがあります。それから、子供たちの様子を見ておきますと、人間関係がとても複雑で、一度関係が崩れてしまった時には、十分な配慮が難しいという状況がございますので、ご理解いただけるとありがたいです。

4 議題

(1) 境野中学校区における学校規模等適正化の手法について

- ・資料3～資料6に基づき、事務局から説明。
- ・意見や質疑応答は、以下のとおり。

発言者	発言内容
議長(委員長)	事務局からご説明がありましたが、資料5にあるとおり、境野小学校の場合、令和17年に単学級になるという推計が出されています。小学校の場合、単学級は11学級以下、全学年単学級は6学級、複式学級は5学級以下ということで、そのようなことも踏まえまして、皆様方からご意見等をいただきたいと思っておりますので、よろしくお願いたします。
委員	資料5にある児童数の推移について、昨年市内の出生数が300人程度とのことですが、今後、13年ぐらい経過すると、2036年頃に中学校へ入学すると思えます。現状として推計よりも少ないのか否か、教えてもらいたいです。
議長(委員長)	令和17年から減少します。
委員	その減少が早まるのか、遅くなるのかということをお教えいただけますか。
議長(委員長)	事務局、お願いします。
事務局 (教育環境課長)	資料5の児童生徒数・学級数の見込みは、住民基本台帳の未就学児童数と国立社会保障・人口問題研究所の出生数の推計に基づくものです。これまでの検討委員会においても、特に中学校の生徒数については、私立や中等教育

発言者	発言内容
	学校に進学する生徒もいますので、資料の推計より更に減少するのではないかと、少し早まるのではないかとのご意見をいただいております。
議長(委員長)	ありがとうございます。委員さん、お願いします。
委員	資料5を見ると、令和17年までは6学級ということで示されています。その先、令和18年より中学校は5学級ということになっています。先ほども触れましたが、家庭科と美術科では、令和17年までは同じような形でできるのかと判断しておりますが、更に減少していくと難しいと考えております。
委員	境野小学校の方も同じく、令和17年度から6学級ということで、前倒しの話も聞いておりますが、全体を鑑みて、具体的な案はなくて申し訳ありませんが、計画的に行っていただければと思います。
議長(委員長)	ありがとうございます。資料5の2ページ、境野小学校、西小学校、南小学校との組合せの例示を見ると、令和16年に352名という児童数の推計になっています。どこを統合をしていくかということになりますと、資料にある中学校3校、4校の組合せを見ながらご意見をお願いしたいと思います。
委員	資料にある例ですが、境野小、菱小、西小、南小、中学校区の方も中央中、清流中、広沢中はありますが、教育長の出生数の話では300人ということで、各学校がもう少し一緒になった統計が見てみたいと思います。桐生市全域、新里、黒保根地区は別として、桐生市全体で1つの学校になった場合では、どのような学級編制になるのかを見てみたいと思いますので、そのような統計をお願いしたいのですが、いかがでしょうか。
委員	資料5には、広沢中学校区と桜木中学校区がありません。全部を一緒にしたものを示してもらいたいと思います。桐生市内の川の北側、南側を一緒にしたものをみてから判断した方が良くはないかと思います。
議長(委員長)	旧桐生地区ということで良いですか。
委員	桐生市全体と旧桐生地区が分かるものをお願いします。
委員	桐生市全体の子供が、300人程度になってしまうのであれば、桐生市で一つの中学校になってしまう状況のように思います。
事務局 (学校教育課長)	今年度の市内の小学校1年生を例に考えると、1年生の児童数が541名です。そこから、新里地区、黒保根地区の1年生の児童数を引くと約400名ちょっとになります。1年生の望ましい学級規模の基準は30人以下でありますので、30で割ると13クラスから14クラスという試算になります。1年生の例で示させていただきました。
議長(委員長)	統合を桐生市全体で考える中で、一つの方向性として、旧桐生地区で一つにまとまるというケースの参考資料を出していただきたいと思います。
事務局 (教育環境課長)	次回の検討委員会の際に、出せるように検討いたします。
議長(委員長)	お願いいたします。他にいかがですか。
委員	今後、10年先までは、委員さんと同じように考えています。まだ単独の学校でいけるとは思いますが、その後の検討は分からない部分があります。少し

発言者	発言内容
	話題が逸れてしまうかもしれませんが、小中一貫校という話を聞くこともあります。そのような方向性もあるのでしょうか。
議長(委員長)	小中一貫校については、黒保根学園がありますが、事務局から説明をお願いします。
事務局 (教育環境課長)	小中一貫教育について、前回の検討委員会において認識を共有する必要があるとのご意見がありましたので、今回、資料8の小中一貫教育制度の概要を準備させていただきました。資料8の2ページ、3ページには、小中一貫教育の良さと課題について、それぞれ記載させていただきました。このようなことも考慮した上で、今後の方針について考えていただければと思います。小中一貫校につきましても、境野中学校区内の小学校と中学校のみで作るとなった場合、各学年の人数が増える訳ではありませんので、人間関係の固定化といった課題が残ることになりますが、小中一貫校の良さもありますので、両方のことについてよく考えていただき、ご協議していただければと思います。
議長(委員長)	ありがとうございました。
委員	黒保根学園は、結構潤っているような気がしますが、どのような良さがあるのでしょうか。
事務局 (学校教育課長)	黒保根学園は、開校から2年が経過します。地域の特色を生かした教育活動を行っているという点と、英語の教育に力を入れているという特徴があります。また、小規模特認校制度を導入して、桐生市在住であれば、黒保根地区以外の地区からも黒保根学園に通学できるという特徴があります。
議長(委員長)	ありがとうございます。いかがでしょうか。
委員	そのような特徴を生かして、検討しても良いかなと思います。
議長(委員長)	委員さん、お願いします。
委員	<p>境野地区から学校がなくなることを避けたいということを見ると、小中一貫校という方法もあるかなと思います。しかし、私の子供は1年生で、2クラスです。入学早々、児童同士のトラブルがありました。今後、3年生、4年生になった時に、2クラスしかないため、トラブルを起こした児童とは、今後ずっと別々のクラスになってしまうことも考えられます。そのようなことを考えると、小中一貫校も良いですが、子供のことを考えると、やはり各学年に3クラス、4クラスあった方が、人間関係の構築はより良くなるという思いはあります。親としては、歩いていける距離の方が安心なので、小中一貫校という考えも良いと思いますが、子供たちからするとクラスの多い方が、日々が充実すると思うので、私としては悩ましいところです。</p> <p>また、どこの小学校と一緒にするとどうなるというような資料をいただいているのですが、事務局からすると、境野小学校はどこどこと一緒にしたら良くなるといった案はありますか。こことここと一緒にするといいのではないかなど、全体を見ているので、何かあれば参考にして検討をしていきたいと思っています。資料だけを見ても、正直決めかねるため、きっかけやター</p>

発言者	発言内容
	ニングポイントのような情報があると、協議が進んでいくのではないかと思いますので、意見が欲しいと思います。
議長(委員長)	事務局、お願いします。
事務局 (教育環境課長)	各中学校区の検討委員会を開催している中で、委員さんの意見と同様に、地域に学校があった方が良くというご意見がどこの検討委員会からも出てきています。様々な思いが、地域の方にはあると思います。地域の学校は、子供が教育を受ける場所でもあり、地域の方々にとっては生活や文化の拠点になる施設でもあります。教育委員会としては、まずは、地域の皆様に様々なご意見を出していただき、その声を寄せていただいて、それをもとに今後一番良い道を探っていけたらと考えております。
議長(委員長)	ありがとうございました。委員さん、お願いします。
委員	<p>検討委員会に臨むにあたり、PTA 本部役員の皆様に、どのように進めていくのが良いかを聞いてみました。先ほど話題にあがりましたように、小中一貫校のことを話していた本部役員もいました。統合に向かって進むのか、境野地区だけでやるのか、隣の地区と協議会を作っていくのかを、他の本部役員に説明することが難しかったです。何とか噛み砕いて伝えましたが、意見は割れました。この地区だけの方が良いという人もいましたし、統合の方が良いのではないかという話もありました。しかし、子供の教育環境が良くなった方が良くというのは、共通した親の思いとしてありました。</p> <p>また、先ほどの委員の発言にもありましたが、人口の規模、学校の規模も差し迫ったところに来ていて、学校の望ましい規模については、どうしても他の地区と一緒に考えないと達成できないように思いました。PTA 自体が、子供のために何ができるだろうということを考えますと、子供の教育環境が悪くならないようにすることが一番なのかなと思っています。</p>
議長(委員長)	ありがとうございました。皆様からいろいろな意見等がありましたが、現在各分野から選ばれた委員 9 名で協議をしています。しかし、区長代理や町会長もいますので、この 9 名で意見を出して進むのも結構ですが、現状のあり方等について、各町会長等にもこの会議の内容をお伝えして、他に意見があれば取り入れていければ良いような気がいたします。次回の町会長会議等で、現在の進行状況について簡単に報告していきたいと考えておりますが、皆さんいかがでしょうか。よろしいでしょうか。それでは、そのように話を進めていきたいと思います。他に何かございますか。
委員	資料 8「小中一貫教育制度の概要」の 2 ページの中で、中 1 ギャップ、中 1 の壁とありますが、他の地区や周りの方の話を聞くと、高 1 ギャップというのを聞いております。小規模で少ないクラスや人数の中では、お山の大将でいられ、それはそれで良かったが、高校に入学後、優秀な方と一緒になった時についていけないという実情を聞いております。以前は、小学校から中学校、他の地区であれば、2 つの小学校が合流して 1 つの中学校になるところもありましたが、境野地区ではエスカレーター式で境野小学校、境野中学校

発 言 者	発 言 内 容
	<p>へ行き、高校入学後高1でギャップを感じ、人付き合いの難しさがあるというのを聞いたことがあります。他の地区で、学校が統合して1つになったところでも、各学年に2クラス程度しかない場合は、高校へ入学後、人間関係作りなどで挫折してしまい、学校を辞めるという話を聞くことがあったので、話をさせてもらいました。小中一貫校等、地域に残すというのは大事だと思いますが、先ほど委員さんが言われたように、市全体の子供の推移などを全部見ていかないと厳しいと思います。我々保護者側からすると、子供の教育は、市内全体で同じ質の教育を受けさせるというのが理想で、細かく言えば日本全体でとなるのだらうと思いますが、まずは、桐生市として統一して考えないといけないと思います。桐生市 PTA 会長会議に出席した際に、中学校で出る話題が、部活のことが非常に多くなっています。クラブチームへ行ける家庭は良いですが、送迎の問題などでなかなか行けない。運動ができないということになるのは、成長を考えると望ましくないと思います。働き方改革等もありますが、子供の部活動の選択肢を広げるという意味でも、ある程度、中学校では必要になってくると思っています。</p>
議長(委員長)	<p>委員さんから、中1、高1ギャップの問題等についてご意見がありました。そのようなことも踏まえて、次回検討をさせていただければと思いますので、よろしくお願いします。他にいかがですか。</p>
委員	<p>資料6に、未来を担う子どもたちのために、より良い教育環境をと書いてあります。大人のエゴで、子供たちの教育環境を妨げてしまっては良くないと思います。理想として、各地域に幼小中がある方が一番良いと思いますが、無理な状況が先に見えていますので、これは大人の責任として、将来の子供たちのために何かをしていかななくてはならないと思います。</p> <p>また、子供の教育環境はどういうものが理想なのかと考えると、皆さんが仰っているように、大勢の人数の中で、子供を育てていきたいということだと思います。そのためにはどういうパターンが良いのか、色々なパターンを事務局に作っていただきましたが、もう少し多めに資料をいただくと良いと思います。</p> <p>もう一つ、隣の足利市は、十数年前に学校の統廃合を行いました。小学校だと思いますが、その時の経緯等、住民のコンセンサスをどのようにしたのか、可能であれば調べていただきたいと思います。どのような経緯で、統廃合をしているのか聞きたいと思います。桐生市は、統廃合が遅れていると思います。平成の市町村合併の際に、桐生広域圏が3つに分断されてしまい、藪塚町は太田市へ行ってしまい、みどり市と桐生市に分かれてしまいました。通学しているお子さんたちには、全く責任がないのに、教育委員会がどんなに仲が良くても、市をまたぐ学校の再編はあり得るのか否かなど、そのようなことを含めて、今後の可能性について、研究課題として、分かる範囲で教えていただければと思いますのでお願いいたします。</p>
議長(委員長)	<p>ありがとうございました。事務局で調査をしていただいて報告をお願いしたいと思います。また、資料6の2ページ望ましい学校規模、学級規模の目</p>

発 言 者	発 言 内 容
	<p>安について、もう一度皆さんに目を通していただき、どのような方法が一番良いか、今後2回会議を予定していますので、それぞれの意見等をお聞きしながら、一つのものにまとめていきたいと考えております。会議の冒頭に、委員さんが言っていたように、桐生市全体で考えていくのも一つの参考になるという気がいたします。望ましい学校規模、学級規模の目安について、この辺も十分頭の中に入れた上で、今後検討委員会を進めていければと思っております。事務局から他にありましたらお願いします。</p>
<p>事務局 (教育環境課長)</p>	<p>委員長ありがとうございました。委員の皆様には、長時間にわたりご協議いただきまして誠にありがとうございました。次第5その他についてですが、第3回検討委員会につきましては、9月の下旬から11月中旬頃を目途に開催できればと考えております。日程につきましては、後日調整をさせていただきますのでよろしくお願いいたします。</p>
<p>議長(委員長)</p>	<p>ありがとうございました。大変長くなりましたが、以上を持ちまして、議長の任を解かせていただきます。皆様大変ありがとうございました。</p>

5 その他

6 閉 会 [終了：午後3時16分]